平成27年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)															
事務	務事業名	建築指導に要する経費							会計一般	款 8	項 1	目 2	多額経費		
	 政策	22	 2快適な暮らし <i>の</i>)環	 境をつ	くります	-		担当課室		 &住:	 宅課	1		
	 施策	221良好な住宅の整備							担当課室長	浮ケ	 -	勝	—— 美		
I 改革	- 改善内容(=	=事務事業をより良く実施するための方策)													
① 前 回 で 内 で 内 で し で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に に は に に に に に に に に に に に に に	建基法及び 上させる。 パトロール件 220%増加し		③平成度に取 改革・i 内容	t27年 t組む)審査	に基づく申請に対する 及び現場検査等を確実 事完了検査の実施率を する。									
結果 Ⅱ 事務	 事業の目的・	掘曲													
<u>□</u> 事務	事未の日的!		に係る市民、設	李	図 (土 / を	太 じこ									
①目的	対象	計者、不動産			図 (対象 るのか)	そとつ	交付率	∞、是正	率を向	1上で	させる	5 。			
②事務事	事業の概要	・建築基準法、發審査、検査、指 ・建築物に全般	建設リサイクル法 尊、相談 に関する相談	、省	エネル -	ギー法、	、低炭素	法等に	:基づく	各種	申請	に対	する		
からの状況見込み・市	分析(事業開始 記変化や今後の i民意向など)	れる。また、相	載、耐震に関す [、] 隣間のトラブル						目談等の	の増	加か	見	込ま		
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況													
①平成2 業の成界	6年度の事 見		年度比の71%、 ては、発生件数				が前年	度比22	20%増	加と	なっ	た。	違		
②成果			標名称		平成24 年度	平成25 年度	25 平成26 単位			定根:	処				
を表す 指標	i ii	建築確認申請件数建基法及びリ法パトロール件			456 105	642 64	464 141								
	iii		_												
	業のコスト		平成26年度決算		成26年				な内訳	平凡	艾27年				
事業費(三	<u>+円)</u> 出金(千円)	1,620 0			金額(千	円)		内容					5,659 2,009		
	出金(千円) 出金(千円)	0	·	-									2,009 0		
	の他(千円)	0 0								0					
一般則	才源(千円)	1,620	1,634									3	3,650		
Ⅳ 評価	ⅰ検討														
①課題(る現状な	目的に対す ど)	検査済証交付	率の向上と相隣	#間	トラブル	レの対	心								
②評価					iii 公平性3高いiv 効率性2普通			· ×総合評価 6精査・検証							
③上記評	平価の理由	法律に基づく	業務であるが、 深	<u> </u>	業務の	対応フ	ち法なと	ど検討だ	 が必要	なた	め。				
V 多額	の経費を要す	る事業等の「写	実施計画」におり	ナる	達成状	況									
	6年度の計画					戓26年	度事業 予算額		犬況(単		千円 算額				
②計画に対	対する事業実績					_	当初 H25⇒26繰越		_	H25	から _{繰越}				
③達成物				1		0	補正		0	187	キム				
④未完了·	・非着手の理由			平成	27年度への	補正 現年分 現年分									

		1 %~ 十次 ※	ᆙケ谷市事務事	不叮叫が	八字妆	八慓牛	計圖衣	ξ)				
車 梨	8事業名		施設建設監理	い声する	奴弗			会計	款	項	目	多額 経費
争的	7 争未有		加 改建改 <u>五</u> 4	三安りる)社員			一般	8	1	3	
	政策	22	快適な暮らしの)環境をつ	担当課室	建翁	连住!	宅課	ļ			
	施策		担当課室長	浮り	容	勝	美					
	· 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	するための方策)								
①のでた ②基取結回価が容にくみ	評価 く、少ない人員で事業に対応する上で25年度に導 別した工事図面電子データーを活用し、依頼部局 との協議調整を行い業務の効率を図る。 関係機関との調整、協議を電子データーを 活用するなど、業務の迅速及び簡素化を 図った			③平/ 度にI 改革 内容	設改修の依頼事業が多他にも修繕内容につい 多いことから、関係部局 協議調整を行うとともに 不良がないよう適切な こいく。				oい 部局 もに			
Ⅱ事務	事業の目的・	概要										
①目的	対象	市長部局が管	理する施設	意図(対象 するのか		施設 <i>0</i> 及び監	D新築》	及び改作	修に	関す	る語	设計
②事務事	事業の概要	他課から依頼る	を受けて行う営	繕業務								
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)		兄を反映して改 必須であり今後			レは延び	びてい	るが、於	色設 (の老	ҟि	とに
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況										
①平成26年度の事業の成果 年間40件の依頼事業に応え、施設建設に係る市民サービスの向上を図った。												
		年間40件の依	京頼事業に応え	、施設建設	没に係る	5市民+	ナービス	スの向 ₋	上を	図っ	た。	
業の成果			で頼事業に応え 標名称		没に係る 1 平成25 年度			スの向 ₋ 算定権		図つ	た。	
業の成果 ②成果 を表す	i	指		平成24	4 平成25 年度	平成26 年度			艮拠	図 つ	た。	
業の成果 ②成果		指	標名称	平成24年度	1 平成25 年度	平成26 年度	単位	算定机	艮拠	図 つ	<i>t</i> =.	
業の成果 ②成果 を表す 指標 ③事務事	i ii iii iii 事業のコスト	指植 依頼事 平成25年度決算	票名称 業実施件数 平成26年度決算	平成2 ⁶ 年度 16	1 平成25 年度 36 36	平成26 年度 40	単位 件 (素)の主	<mark>算定机</mark> 業務耳	<mark>艮拠</mark> 仅得			_
業の成果 ②成果 を表情 事業費(=	i ii iii iii 事業のコスト 千円)	佐頼事	票名称 業実施件数 平成26年度決算	平成2 ⁴ 年度 10 平成26年	中 年度 36 36 年度 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	平成26年度 40	単位 件 (大字)の主	業務軍な内訳	<mark>艮拠</mark> 仅得			予算 217
業の成果 ②成果 を表標 ③事業費(円 国支出	i ii iii 事業のコスト F円) 出金(千円)	指植 依頼事 平成25年度決算	票名称 業実施件数 平成26年度決算	平成2 ⁶ 年度 16	中 年度 36 36 年度 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	平成26 年度 40	単位 件 (大字)の主	業務軍な内訳	<mark>艮拠</mark> 仅得			_
業の成果 (2) 表標 (3) 事業 (3) 事業 (3) ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	指植 依頼事 平成25年度決算	票名称 業実施件数 平成26年度決算	平成2 ⁶ 年度 16	中 年度 36 36 年度 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	平成26年度 40	単位 件 (大字)の主	業務軍な内訳	<mark>艮拠</mark> 仅得			_
業の成果 ②成表標 事費(支) 事費(支) まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	i ii iii 事業のコスト F円) 出金(千円)	指植 依頼事 平成25年度決算	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194	平成26年 金額(-	中 年度 36 36 年度 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	平成26年度 40	単位 件 (大字)の主	業務軍な内訳	<mark>艮拠</mark> 仅得			
業の成果 ②成表標 事費(支) 事費(支) まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	i ii iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 才源(千円)	指植 依頼事 平成25年度決算 240	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194	平成26年 金額(-	中 年度 36 36 年度 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	平成26年度 40	単位 件 (大字)の主	業務軍な内訳	<mark>艮拠</mark> 仅得			217
業の成果 ②を指 事業国県市一般 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	i iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) たの他(千円) が源(千円) 「・検討 目的に対す	指 依頼事 平成25年度決算 240	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194	平成2 ⁴ 年度 16 平成26年 金額(-	平成25 年度 6 36 下 度決算 119	平成26 年度 40 (事業費 営繕刊:	単位 件 (大字)の主	業務軍な内訳	<mark>艮拠</mark> 仅得			217
業の成果 ②を指 事費 支支債 服 ・	i iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) たの他(千円) が源(千円) 「・検討 目的に対す	指 依頼事 平成25年度決算 240	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194 が進み、修繕の	平成2 ⁴ 年度 16 平成26年 金額(-	1 平成25 年度 6 36 千円) 119	平成26 年度 40 (事業費 営繕刊:	単位 件 内容 行物単値	業務軍な内訳	又得 平成	ξ27 ⁴	丰度	217
業の成果 の成果 で表標 事業国県市一評題状 で表現 では出せる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	i iii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) たの他(千円) が源(千円) 「・検討 目的に対す	指標を を頼事。 平成25年度決算 240 を設の老朽化 i 市関与の妥当性 ii 有効性	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194 が進み、修繕の 3高い	平成26年 全額(iii 公平性iv 効率性iv 効率性	1 平成25 年度 6 36 第 119 第 2 7 7 7 119	平成26 年度 40 (事業費 営繕刊:	単位 件 内容 行物単値	算定材 業務耳 な内訳 ・ V総合	又得 平成	ξ27 ⁴	丰度	217
業の成果 ②を指 事業国県市一評題状 の の で の で の の の の の の の の の の の の の の	i iii iiii iiii iiii iiii iiii iiii i	指標を を頼事。 平成25年度決算 240 を設の老朽化 i 市関与の妥当性 ii 有効性	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194 が進み、修繕の 3高い 3高い 70向上を図るた	平成26年 全額(iii) 公平性iv 効率性めには適	1 平成25 年度 6 36 119 119	平成26 年度 40 (事業費 営繕刊:	単位 件 内容 行物単値	算定材 業務耳 な内訳 ・ V総合	又得 平成	ξ27 ⁴	丰度	217
業の成果 ②を指 ③事業 国県市一評題状 ① 3 ・ では、 ・ では、 では、 では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・	i iii iiii iiii iiii iiii iiii iiii i	指標 依頼事 平成25年度決算 240 240 施設の老朽化 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民サービスの	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194 が進み、修繕の 3高い 3高い 70向上を図るた	平成26年金額(************************************	平成25 年度 36 36 下円) 119 増えてい 上 上 上 大況 「成26年	平成26 年度 40 (事業費 営繕刊) る。 3高い 3高い 持修	単位 件 内容 行物単値 が必要	算定材 業務耳 な内訳 取利用	良拠 平原 評価	6精	査・	217
業の成果 ②を指 ③事業 国県市一部 説明 10 31 10 31 10 31 10 31 41 41 41 41 41 41 41 41 41 4	i iii iii iii 業のコスト 千円) 社金(千円) 社金(千円) 社の他(千円) 材源(千円) i・検討 目的に対す とど)	指標 依頼事 平成25年度決算 240 240 施設の老朽化 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民サービスの	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194 が進み、修繕の 3高い 3高い 70向上を図るた	平成26年 全 金額(iii 公平性iv 効率性が めには 適ける達成	平成25 年度 36 36 下円) 119 増えてい 上 上 上 大況 「成26年	平成26 年度 40 (事業費 営繕刊) る。 高高い 持 事業額 当初	単位 件 内容 行物単値 が必要	算定材 業務耳 な内訳 取利用	良拠 平原 評価	6 精	査・	217
業の成果 ②を指 ③事業 国県市一部 説明 10 31 10 31 10 31 10 31 41 41 41 41 41 41 41 41 41 4	i iii iii iii iii iii iii iii iii iii	指標 依頼事 平成25年度決算 240 240 施設の老朽化 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民サービスの	票名称 業実施件数 平成26年度決算 194 が進み、修繕の 3高い 3高い 70向上を図るた	平成26年金額(************************************	平成25 年度 36 36 下円) 119 増えてい 上 上 上 大況 「成26年	平成26 年度 40 (事業費 営繕刊) る。 高高い 持修 事業額	単位 件 内容 行物単値 が必要	算定材 業務耳 な内訳 取利用	関拠 (本)	6 精	査・	217

平成27年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務	务事業名	市営住宅の管理運営に要する経費							会計一般	款 8	項 E 5	多額 経費 1	
	政策	22	快適な暮らしの)環境をつくります					担当課室	建築	住宅	課	
	施策		221良好な	 住宅の整備					担当課室長	浮ケ	谷朋	券美	
1 改革	・ 改	=事務事業をよ	り良く宝施する	t-x	かの方き	套)							
1前回				/_0 1	70773	<u>~</u> /	ı						
① の評価 で内容 ② ② ② (1) (2) (2) (3)	ムを利用した口もに、滞納者にな指導をする等	き家賃納入につ 座振替への誘導 ついては職員が で徴収率のさらなる 30日現在の徴	③平成27年 度に取組む 改革・改善 内容			て管理 替へ <i>0</i> 滞納者	型システ D誘導で 動につし	き続き家 - ムを利 を頻繁! いては! 尊をする	座振 らに、 ききめ				
取組み 結果	で現状維持と						らなる向上を目指す。						
	事業の目的・	押 更		_									
1 事份 1 目的	対象	低安 低所得者に対す 供給及び市営住		息凶(対象をとう 等) 適切な維					主環境改善(高齢化対策 推持管理及びそれらのため				
		維持管理全般		9	るのか)		の適切	な家賃	収入				
②事務事業の概要 市営住宅の施設等の適切な維持管理及び適切な入居者管理													
からの状況	予析(事業開始 品変化や今後の i民意向など)	ハるが入居希望	:より市営住宅を建設(全146戸)、国は住宅セーフティネットと 望者数はほぼ横ばいか減少傾向である。入居者からは施設 と対策や浴室改修等)や植栽手入れの要望等が出ている。							比施設			
		ウコストの状況											
,,,,	6年度の事	施設の適切な網	維持管理を行う 料は平成27年4		30日現	在で(3	8,551)	千円σ					
②成果			票名称		平成24 平成25 平成26 単位			単位	算定根拠				
を表す	i	収	!入率		95.1	95.6	94.4	%	業務耳	<u> </u>			
指標	ii iii												
○主 を	• • • •	T	T				/ == ** =						
	業のコスト	平成25年度決算							なり訳	平成.			
事業費(-		12,346 11,318							-			13,855	
	出金(千円)					7,063		修繕費	Ž .				
	出金(千円)												
市債そ	その他(千円)												
一般則	オ源(千円)	12,346 11,318 13,85									13,855		
Ⅳ 評価	<u> </u>												
	目的に対す	入居者の多くが申込資格の所得制限の中でも所得の低い層であり滞納発生の際に細やかな対応が必要。また、入居者の高齢化等が進み、また住宅セーフティネットの付けであるがゆえ新規入居者についても福祉的な色合いが濃く良好なコミュニティバとは言い難い状況となっており、今までの管理手法では支障が出始めている。								ットの	位置		
②評価		i 市関与の妥当性 3高い ii 有効性 2普通			iii 公平性 2普通 iv 効率性 2普通					評価	5改	対善	
③上記評	平価の理由	国は公営住宅		イオ	マットとし	て位置		ており	人徴収	方法	の見	直しも	
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「実	施計画 にお	ナス	達成状	沅							
	6年度の計画	J 1 7 1 1 1 1 7			平		度事業		犬況(革				
				計i	画事業費		予算額 当初	1		決 算 H25カ			
	対する事業実績					0	H25⇒26繰越		0	の繰			
③達成物							補正 _{流用·充当}			現年	分		
④木元 ∫ '	・非着手の理由			平成27年度への繰越額(単位:千円)									

平成27年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)														
事務	務事業名	市営住宅長寿命化事業								<mark>款</mark> 8	項 5	目 多額 経費 1 ○		
	 政策	22	 2快適な暮らしの)環境をつくります					担当課室	建築	住宅	課		
	 施策		221良好な						担当課室長	浮ケ	谷	勝美		
I 改革	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施するが	<u>ための方策)</u>										
1前回	71111	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			7/								
の評価で掲げた内容	評価 市営住宅長寿命化計画に基づき事業を実 掲げ 施し、必要があれば計画の見直しを行う。 内容					戊27年 双組む			長寿命化計画に基づき					
②①に 基づく 取組み 結果	く 結果として実施事業が実施計画と異なり、 み 予算の関係上26年度準備期間、27年度よ り事業開始となった。				改革• 内容	改善	業を実施し、必要があれば計画 直しを行う。					画の先		
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要												
①目的	対象	市営住宅及び	附属施設		図(対象 るのか)	をどう	施設の 了させ		を行い、改修工事を完					
②事務事	4業の概要	市営住宅の耐力を図る。	久性の向上、躯	体	の経年	劣化の	軽減等	を図り	、市営	住宅	の長	寿命化		
からの状況	↑析(事業開始 対変化や今後の 民意向など)	施設の老朽化	及び入居者の高	鬋	化等に	伴い居	住環 境	党の整備	帯が必	要。				
		やコストの状況												
	①平成26年度の事業 要野市党住宅田地賃貸供契約の再発を完了させた													
②成果		指標	票名称	平成24 平成25 平成26 年度 年度 単位 算定根拠										
を表す	i	市営住宅改修	工事等実施金	額	52,797	3,377	4,045	千円	業務耳					
指標	ii													
<u> </u>	iii	_ 5		_	<u> </u>		(I — _!				
	業のコスト		平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の										
事業費(日		3,377					内容 栗野市営住宅用地賃貸借契約更			9,000				
	出金(千円) 出金(千円)	1,575		4,043 朱护印名在七州地京英国大利文				佰奖制史新	ī					
	<u>1並(〒□)</u> -の他(千円)													
	<u> </u>	1,802	4,045						9,000					
	·検討	1,002	1,010									5,555		
	目的に対す	入居しながらの)工事となるため	施	工に困	難を伴	う。							
②評価		i 市関与の妥当性	3高い	3高い			v 松本	合評価 6料		★.best				
<u> </u>		ii 有効性 3高い iv 効率			効率性							虫 " 仅 武		
	呼価の理由		長寿命化計画を				に基づ	き対応	をしてし	ハくた	め。			
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	[施計画]におけ	る:	達成状	況								
①平成2	6年度の計画	市営住宅空家全面改修工事設計委託·同工事 粟野市営住宅用地賃貸借契約			平成26年度事業費の料			費の物	犬況(単	i位; -	千円))		
		更新	地负负旧天心	計画事業費		予算額		決	算額					
	対する事業実績	粟野市営住宅用地賃貸借契約 更新 ※その他の事業については平成25年度 末に長寿命化計画策定完了、結果として 実施事業が実施計画と異なり、予算の関 係上26年度準備期間、27年度より事業 開始となった。		2	:6911	26911	当初 H25⇒26繰越	26911 0	4045	H257 の縛		0		
③達成物	· 況	完	了				補正	0]	珀石	日午八 4045			
	非着手の理由			- 現年分 404 - 現年分 404 - 平成27年度への繰越額(単位: 千円) 0							4045			